

スポーツの秋到来!! 大河原町立小学校陸上競技大会

9月15日、南小学校校庭で町内3つの小学校の5・6年生による「第32回大河原町立小学校陸上競技大会」が開催されました。

当日は快晴にも恵まれ、100 ㍎や1500 ㍎、400 ㍎メドレーリレーなどのトラック競技5種目と走り幅跳び、走り高跳びのフィールド競技2種目が行われ、それぞれ学年ごとに男女別で競い合いました。

各選手はこれまで練習してきた成果を一生懸命に発揮し、それを見守る児童や保護者からは熱い声援が送られました。



声援を受けて、全力疾走!



▲記録更新目指してジャンプ。



▲助走をつけて、少しでも遠くへ。

安心安全に暮らせるまち

大河原町消防団消防演習

町消防団員が日頃の訓練の成果を発揮する「消防演習」が、9月11日に大河原河川公園で開催されました。

団員たちは機敏な動きで「ポンプ操法」や「分列行進」などの演目を次々と披露。参観に訪れた家族や地域の皆さんにも、その頼もしさが改めて強く印象づけられたのではないのでしょうか。

また、この日は長年にわたり消防団を支えてきた団員やその家族への表彰状や感謝状の伝達も行われました。



空高く描かれた見事な水のアーチに、観覧席から大きな拍手が沸き起こった「実地放水」訓練。

めざせ、2020年オリンピック!!

剛柔会全国空手道選手権大会で大活躍



▲永澤師範(左)、須藤県議会議員(右)と選手たちを囲んで。

8月28日に行われた第42回剛柔会全国空手道選手権で功績を挙げた永澤道場所属の選手5名が、9月13日に来庁されました。結果は組手中学生女子3年生の部で鈴木愛奈さんが優勝、組手中学生女子2年生の部で佐藤琉奈さんが優勝、組手中学生男子2年生の部出場大橋虎流さんと、組手小学生6年女子の部出場齋藤愛萌さん、形小学生5～6年男子の部出場佐藤秀也さんが優秀賞という成績を収めました。選手たちの首にはそれぞれのメダルが光り輝いていました。

これからも、さらなる上を目指してがんばってください。

いろんなことをやってみよう! 子どもアートフェスティバル



大きな用紙一面に自由に絵を描く子どもたち。

▶段ボールなどを
利用して作った
タワーの上から
大きなビー玉を
コロコロ!!



▲お姉さん気分で
ネイルアート。

9月4日、世代交流いきいきプラザで「子どもアートフェスティバル2016」が開催されました。このイベントは、町が子育てママたちによる子育て支援団体「アートのたからばこ」へ委託したもので、アートを通じて子どもたちやその家族に元気になってもらおうと企画されました。

当日は、ステンシルで絵はがき作りやプラコップを使ったコースター作り、きらきらデコレーションで宝箱作りやバードホイッスル作りなど、たくさんのコーナーが設けられ、参加した子どもたちは、「あれもしたい、これもしたい」と次々とコーナーを回り、時間が経つのも忘れて夢中で遊んでいました。一緒に参加したお父さんお母さんたちには、マッサージコーナーやフットリリートメントコーナーも設けられ、日頃の疲れを癒していました。

また、会場の外ではパトカーと記念撮影コーナーもあり、小さな子どもたちが警察官の制服を身にまとい、本物のパトカーに乗り込み警察官と一緒に記念撮影を行いました。

親子でいろんなことにチャレンジしてたくさん楽しんだ一日となりました。

神秘的な音の世界に触れる

荒さんと音あそび、工作教室「音くらげを作ろう!」

8月23日、世代交流いきいきプラザで、夏休み工作教室「音くらげを作ろう!」(主催:大河原町)が開催されました。この事業は、子ども子育て支援充実事業として、町がアートのたからばこへ委託したもので、今回は、オリジナルの多国籍楽器の制作や演奏活動を行っている荒利美さんを講師に迎え、使わなくなった古いスプーンや古カギ、古いアクセサリーなどの金属小物を組み合わせた、世界に一つだけの自分オリジナルの「音くらげ」という風鈴を制作しました。

参加した子どもたちは、完成した「音くらげ」のきれいな音色にとっても満足した様子でした。

また、教室の初めと終わりには、荒さんオリジナル楽器の演奏や直接楽器に触れる時間も設けられ、子どもたちは楽器を手にとると、「なんだこれ?」「すごい!!」などと、何度も何度も音を出して、不思議な音や楽器の素材などを確かめていました。



▲完成した「音くらげ」の音色にうっとり。



▼レインスティックという民族楽器を、手にする子どもたち。



▲多国籍楽器の不思議な音と荒さんの迫力ある歌の世界に引き込まれました。